

シンポジウム

特定非営利活動法人  
きょうとNPOセンター

# DV被害からの レジリエンス

被害からの回復そして社会復帰への多様なゴールズにむけて

DV 被害者にとって、暴力からの離脱は最初に目指すべきゴールです。しかし、その後の本質的な自立にむけた多様な支援が重要になります。本シンポジウムにおいては DV 被害からのレジリエンスに注目し、最初のゴール「暴力からの離脱」から社会復帰に向けた「多様なゴールズ」について検証すること目的として実施します。



12/10 sun

13:45 ~ 16:30

参加無料 ————— 開場 13:30

ひと・まち交流館 京都 2 階  
大会議室

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅濤町 83-1  
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」2 階

参加には事前申込みが必要です。  
お申込み方法など詳しくは裏面をご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この事業は SDG's で掲げる目標の内、3・5・10・17 に該当する活動として実施します。

主催 きょうと NPO センター

共催 近畿労働金庫

後援 京都労働者福祉協議会、京都府生活協同組合連合会

特定非営利活動法人  
きょうとNPOセンター

はたらくあなたへ、笑顔を届けに  
近畿ろうきん

## プログラム

### ▶▶ 13:45～ 基調講演 改正されたDV防止法と暴力の定義・メカニズム

スピーカー



2024年4月に改正されるDV防止法の内容を中心にその中で定義されている暴力、またその暴力のプロセスについてお話いただきます。

**中村 正氏** NPO 法人きょうとNPOセンター 理事長、立命館大学教授

専門は社会病理学・臨床社会学。男性性や暴力・攻撃性の研究をおこなっている。子どもを虐待する父親、DV 加害男性、ハラスメント加害者たちへの脱暴力臨床実践に取り組んでいる。大阪各地の児童相談所と連携し、虐待する親たち向けの「男親塾」を主宰。奈良少年刑務所では10年間、再犯防止の心理教育を担当していた。内閣府、厚生労働省のDV・虐待の加害者対策の委員会座長や京都府男女共同参画審議会委員などもつとめる。暴力のない社会のつくりかた、暴力なしで暮らす方法の身に付け方に関心がある。きょうとNPOセンター理事長。

※ シンポジウムにもコメンテーターとしてご参加いただけます。

### ▶▶ 15:00～ シンポジウム DV 被害からのレジリエンス ～被害からの回復そして社会復帰への多様なゴールズにむけて～

パネラー



井上 摩耶子さん

ウィメンズカウンセリング京都  
カウンセラー

同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。ウィメンズカウンセリング京都前代表。「障害児」母子通園施設、高等学校での心理カウンセラー、を歴任。1991年にフェミニストカウンセリングに出会い、フェミニストカウンセラーとなる。1995年にウィメンズカウンセリング京都を開設。2000年に日本フェミニストカウンセリング学会代表理事に。現在もジェンダーの視点に立つフェミニストカウングを実施し、サポート活動とともに、性暴力被害者、ドメスティックバイオレンス被害者のための法廷で代弁・擁護活動に取り組んでいる。

パネラー



坂本 未希さん

DVGs ラボ  
代表

龍谷大学大学院政策学研究科修了、DVGs ラボ代表、京都府文化生活部文化生計課会計年度任用職員、一般財団法人社会的認証開発推進機構研究員。大学院にて、DV 被害者の視点から DV 被害者の現状と多様な支援策の機能的環境の構築について研究し、修士論文を執筆。現在、被害者や支援者、研究者など様々なネットワークを手繰りながら同じ境遇にある女性等に対する支援環境の構築を模索中。

パネラー



倉島 加奈子さん

京都市ひとり親家庭支援センター  
ゆめあす 主任相談員

中央大学文学部心理学専攻卒業、日本社会事業大学研究科にて社会福祉士資格取得。児童養護施設、母子生活支援施設勤務を経て、現職。これまでオランダ、ドイツで生活経験あり。2021年より、京都市ひとり親家庭支援センター及びひとり親家庭福祉連合会の主任相談員として、ひとり親家庭の相談及び就労支援を担当。一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会職員。

ファシリテーター



齋藤 佳津子さん

(一財)社会的認証開発推進機構  
専務理事

米国ボストン大学大学院修了。非営利組織の運営科学を学ぶ。京都女子大学大学院現代社会研究科後期博士課程公共圏創成満期退学。一般財団法人社会的認証開発推進機構専務理事。全国の社会的養護関係施設及び京都府内の福祉サービス第三者評価事業評価調査者、運営委員長。元京都 YWCA スタッフとして、女性の子どもの育つ環境や親の子育て支援のあり方の実践者として従事する。女性と子どもの教育実践を研究テーマとして現在、大阪国際児童文学館特別研究員。

## 参加申込の方法

締切 12/9(土)

下記 URL の参加申込みメールフォームまたは以下の内容を電話・ファクス・メールのいずれかでお申込みください。

- ① 件名：12/10 シンポ ② お名前 ③ ご所属
- ④ 電話番号・FAX 番号 ⑤ メールアドレス



### 参加申込メールフォーム

<https://kyoto-npo.org/?p=3048>

※ メールアドレスは、PC から送信されたメールを受信可能であること。

## 会場アクセス



市バス 4・17・205 系統「河原町正面」下車すぐ  
京阪電車「清水五条」駅 1 番出口より徒歩 8 分  
地下鉄烏丸線「五条」駅 5 番出口より徒歩 10 分

## お問合せ・お申込み先



☎ 075-744-0944 ☎ FAX 075-744-0945

✉ [office@kyoto-npo.org](mailto:office@kyoto-npo.org)



この事業は近畿ろうきん NPO パートナシップ制度の事業として実施します。